



浜田市立旭小学校



令和6年3月号

みんなで創る

かがやく旭小学校

文責 花田健司

# 卒業おめでとうございます



3月19日（火）、6年生19名が卒業しました。12年間、家庭で愛情あふれる中で育ち、地域の中で支えられ、小学校での6年間で確実に力をつけ、「ふるさとを愛し 未来を拓く 旭の子」として、立派に卒業いたしました。



## 6年生を送る会



## 鼓笛引継ぎ式

# 令和5年度 旭小学校 学校評価

評価計画			評 価						
年度	今年度の取組の重点	達成のための具体的方策 (重点的な方策を2つまで、文で表記)	アンケート結果(肯定的評価%)						総合評価
			職員	評価	児童	評価	保護者	評価	
教務部	基礎学力向上の手立て	・朝のドリルタイム(5~10分)や朝読書の時間を各学級の実態に応じて適切に設定する。	100	A	80	A	95	A	A
		・漢字計算会の実施にあたり、事前に範囲を指示し、家庭学習等で事前学習に取り組むように指導する。	83	A					
	子どもが“できた”“分かった”“といえる授業改善	・子どもができた、わかったといえる授業に向け、めあての持たせ方や導入の工夫を行う。	80	A	83	A	80	A	A
		・学力向上のために、習熟度やT.Tなど個に応じた指導を行う。	100	A					
研究部	合意形成したり折り合いをつけたりできる児童	・学級会オリエンテーションを実施することで、合意形成の方法とそのよさを理解できるようにする。	100	A	87	A	83	A	A
		・教室前の掲示版に学級会のあしあとを残すことで、児童が活動に進んで取り組んだり、自分達の課題を次の話合いに生かそうとしたりする態度を育てる。	85	A					
	すすんで学校づくりに関わろうとする児童	・生活目標の設定と振り返りを継続して行うことで、児童のよりよい生活を目指そうとする気持ちを育てる。	100	A	84	A	88	A	A
		・キャリアパスポートを使って、めあての設定と振り返りを行うことで、児童が自らの成長を実感できるようにする。	91	A					
	互いに認め合える児童の育成	・デリバリースピーチを通して、児童の話す力・聞く力を高める。	100	A	82	A	/	/	A
		・アピールタイムを通して、自分の思いを伝える力を高めたり、相手の思いを大切にしようとする気持ちを育てる。	100	A					
	学び合える職員	・1学級1公開授業を行い、研究協議を行うことで、研修を深める。	100	A	/	/	/	/	A
	生徒指導部	お互いを思いやる児童の心の育成	・児童の思いやりの心を育てるために、特別活動や児童会活動に取り組む。	92	A	86	A	94	A
・はきものをそろえようとする意識を高めるために、トイレのスリッパをそろえに全校、全職員で取り組む。			82	A					
学校生活を元気に過ごす体づくり		・児童が体を動かす楽しさを味わうために、業間マラソンや児童会活動を実施する。	79	B	79	B	69	B	B
		・生活リズムについて家族みんなで考えるきっかけづくりとして、生活リズムパッチリデーを設定する。	84	A					
総務・事務部	職員室の環境づくり	・すぐるを活用し配付物を少なくしたり、消耗品を分かりやすく配置するなど、ちょっとした環境改善をする。	100	A	/	/	/	/	A
		・職員のアイデアが実現できるように、環境整備、財源、人、もの、ことなどの教育環境を整える。	100	A					
	スムーズな情報共有	・すぐるを活用して保護者連絡をする。	93	A	/	/	93	A	A
		・HPを活用して情報発信を行う。	90	A					

★評価…肯定群80%以上→A(目標値クリア) ・60%以上~80%未満→B ・60%未満→C  
 ★総合評価…すべてA→A(目標値クリア) ・すべてAではなく、Cが半数未満→B ・Cが半数以上→C

### 学校関係者評価(第3回学校評議員会で出た意見より)

- ・授業に取り組む姿が、大変、落ちついている。子どもたちの成長が、良く分かる。
- ・スリッパについて、まちセンでの取組もよくなってきている。学校の指導が活かされている。
- ・生活リズムについて、学校と家庭の連携が重要。
- ・HPの情報更新が早い。HPの写真をまちセンで印刷するなどして、地域の方と共有している。

### 来年度に向けての改善案

- ・来年度はミライ時程をなくし、一日朝の活動の日を増やす。朝の活動の内容についても再検討する。
- ・生活目標については、児童総会で決めて全校で取り組んだものもあった。今後も年に1度このようにみんなで同じ目標に取り組んでいきたい。
- ・デリバリースピーチではない時の、学級でのスピーチの取組に差があった。どの学級も毎日取り組めるとよい。
- ・アピールタイムは3学期よりマイクなしで行うようにしている。まだ声が出ない児童もいるが、継続していくことで力を付けたい。
- ・来年度は、今年度までの成果を生かし、教科等をしほらずに研究を進めていきたいと考えている。
- ・今年度のパッチリウィークの取組のやり方を少し修正しながら、このやり方でもう少し実施していきたい。
- ・すぐるの関係者等チャンネルの運用について、検討する。



## 今年度もお世話になりました

今年度も、家庭・地域のご理解・ご協力のもと「みんなで創る かがやく旭小学校」を合言葉に、学校教育目標「ふるさとを愛し みらいを拓く 旭の子」に向けて取り組み、子どもたちは大きく成長してきました。大変お世話になりました。来年度も「みんな(子ども、家庭、地域、職員)」で、意見やアイデアを出し合い、折り合いをつけながらかがやく姿を創り出していく学校運営をめざしていきたいと思えます。引き続き、これからもよろしく願いいたします。